



〈Survey Report〉教育費支援情報に関する施行時特例市の広報のあり方―漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究(4)―

渡部(君和田), 容子
渡部, 昭男

(Citation)

近畿大学生物理工学部紀要, 46:9-25

(Issue Date)

2021-10-31

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(Rights)

近畿大学生物理工学部紀要編集委員会より許可を得て掲載しています。

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90008805>



教育費支援情報に関する施行時特例市の広報のあり方 —漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究(4)—

渡部(君和田) 容子¹, 渡部 昭男²

要旨

教育費支援情報に関する広報・施策について、23 施行時特例市の HP にある情報を収集・分析し、以下の 7 点の特徴を析出した。1)HP 等へのアクセシビリティにおける配慮(多言語等)、2)子育て情報の提供におけるガイドブックの発行やスマートフォン等を活用した配信、3)就学前段階における子ども医療費助成などの独自支援、4)小中学校段階における塾代助成や放課後児童クラブ保育料補助などの独自施策、5)高校生・大学生段階における奨学金・特定職種修学資金・奨学金返還支援事業などの独自施策、6)ひとり親家庭に係る支援情報冊子等の作成や医療費助成の青年期までの延長などの独自施策、7)コロナ禍に関連した家計急変者の申請に係る注意喚起や国の支援に上乗せした助成などの独自施策、である。加えて、1)切れ目のない支援を妊娠・出産・幼児期から学童期、さらに思春期・青年期・成人期に拡張する試み、2)市区町村・都道府県・国による重層的で相補的な支援をイメージした広報のあり方を検討した。

キーワード：施行時特例市、教育費支援、広報、自治体総合施策、漸進的無償化、切れ目のない支援、重層的相補的な支援

はじめに

すでに、第一報⁽¹⁾として 47 都道府県について、第二報⁽²⁾として 20 政令指定都市について、第三報⁽³⁾として 20 中核市(調査当時 60 市中の 20 市抽出)について、教育費支援情報に関する広報の現状を調査し、特徴ある試みから広報のあり方を検討した。第四報として、本稿では施行時特例市を扱う。これまでと同様に、本研究は、日本国憲法 26 条の「教育を受ける権利」及び義務教育無償、児童権利条約 28 条の「教育の権利」及び中等教育の「無償教育の導入」、国際人権 A 規約 13 条の「教育への権利」及び中等教育・高等教育の「無償教育の漸進的導入」規定を合わせて、「漸進的無償化」を権利保障の鍵概念に据え、住民の福祉の増進を図る地方公共団体の基本任務に着眼して、漸進的無償化に係る自治体総合施策の創出と展開を明らかにする一環に位置づく。

ところで、特例市(法定人口 20 万人以上)制度は、2000(平成 12)年度施行のいわゆる地方分権一括法による地方分権の趣旨のもと、政令指定都市(1956-、法定人口 50 万人以上)、中核市(1995-、法定人口 30 万人以上)に続いて創設されたものであるが、中核市の人口要件を 20 万人以上に緩和した改正地方自治法の施行(2015.4.1)をもって廃止となった。その際に中核市等に移行しなかった 39 市が、特例市としての事務を引き続き処理できるよう施行時特例市とされた。その後の中核市への移行や合併による廃止に伴って、2021(令和 3)年 4 月 1 日時点において、施行時特例市は 23 市となっている(中核市は 62 市)⁽⁴⁾。なお、総務省の「政令指定都市、中核市、施行時特例市の主な事務指定」⁽⁵⁾によれば、施行時特例市の処理する主な事務は都市計画等に関する事務、環境保全に関する事務、その他、とされている。

原稿受付 2021 年 7 月 16 日、受理日 2021 年 9 月 23 日

本研究は JSPS 科研費 19K02465(渡部(君和田)容子)、同 19K02864(渡部昭男)の助成を受けた。

1. 近畿大学生理工学部 教養・基礎教育部門 〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷 930
2. 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 名誉客員教授

本稿では、政令市や中核市には及ばないものの、都市の事務権限を強化し、できる限り住民に身近なところで行政を行うことができるようにしようという施行時特例市において、教育費支援の施策やその広報に関してどのような特色・配慮・工夫があるのかを明らかにする。23市のホームページ（以下 HP）において教育費支援の項目を中心に関連情報を収集し（閲覧日は 2021.5.23-6.20）、一覧表にした。その際、第二・三報で用いた①就学前（就学前以降も含む）、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他の5区分で、情報のタイトル〔作成部署等〕と URL を整理し、特色ある施策・広報に下線を引き、文中でも同様に下線処理した。なお紙数の関係で、障害児家庭の特別児童扶養手当・特別支援教育就学奨励費、ひとり親家庭の児童扶養手当、社会福祉協議会の生活福祉資金などは省略した。なお、「全国の子育て関連の独自の取り組み 暮らしデータ」等を参考に独自の取り組みを推定し選択した⁽⁶⁾。

1. 茨城県つくば市（人口：248,578 人 [2021.6.1]⁽⁷⁾、中核市候補市⁽⁸⁾／権利条例等：「つくば市こども未来プラン」2019、貧困対策等⁽⁹⁾：「第2期つくば市子ども・子育て支援プラン」2020-24／以下同様）

市の子育て支援情報ナビゲーションサイト「子育てナビ」の「手当・助成」メニューの情報（0歳～小中学校）に、高校以降を別途に追加すればほぼ必要な情報が得られる。また、官民協働事業として冊子「つくば子育てハンドブック」を作成配布している（ウェブ上でも閲覧入手できればより使いやすい）。

①就学前に関しては、児童手当、幼児教育・保育の無償化（英語版あり）等の情報がある。他に、医療福祉費支給制度（マル福）（中3まで）、幼児2人同乗用自転車購入費補助制度、児童自転車用ヘルメット購入補助事業（18歳未満）が案内されている。

①小中学生に関しては、就学援助制度の案内は日本語版に加えて英語版・中国語版がある。子どもの学習塾代助成金とは、困窮世帯の7～9年生を対象に塾代の一部を助成するものである（20名、月5千円上限）。つくばこどもの青い羽根学習会とは、困窮世帯の4～9年生を対象にした学習・生活支援事業である（地域団体等との協働事業）。②高校生等に関しては、つくば高校奨学生の募集がある（若干名、月6千円給与）。

③大学生等に関しては、奨学金や修学資金などの独自施策情報は見当たらなかった。

表1. つくば市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①つくば子育てハンドブック[こども部・こども政策課] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/oshirase/1014393.html 児童手当[同上] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1005740.html 幼児教育・保育の無償化ガイドブック[こども部・幼児保育課] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1011768.html 幼児2人同乗用自転車購入費補助制度[都市計画部・総合交通政策課] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1005742.html 児童自転車用ヘルメット購入補助事業[同上] https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/torikumi/jitensha/1009845.html 医療福祉費支給制度（マル福）[保健部・医療年金課] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1005818.html ①小中学校・義務教育学校における就学援助費[教育局・学務課] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1005882.html 子どもの学習塾代助成金[福祉部・こども未来室] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1009589.html つくばこどもの青い羽根学習会（子どもの学習・生活支援事業）[同上] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodatenavi/1005676/1009588.html ②令和3年度（2021年度）つくば市高校奨学生募集[教育局・教育総務課] https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/oshirase/1004051.html

2. 群馬県伊勢崎市（212,784 人 [2021.6.1]／「第2期伊勢崎市子ども子育て支援事業計画」2020-24）

イラスト入りの「いせさき子育てナビ」があり、見やすく区分された構成の見出しから「手当をうける」を選んでクリックすると欲しい情報が得られる（英・中〔繁体・簡体〕・韓・スペイン・ポルトガル語への翻訳機能付き）。予防接種スケジュール管理システムと合体した「ワクチン&子育てナビ（通称：ワクナビ）」も運用している。また、子育て情報冊子「子育て支援ノートブック」（全58頁）を冊子体・PDF版で提供している。

①就学前に関しては、児童手当、幼児教育・保育の無償化などの情報がある。子育て支援ガイドブック「すくすくサポート」は、市内の保育所・幼稚園・認定

表2. 伊勢崎市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①子育て支援ノートブック[福祉こども部・子育て支援課] https://www.city.isesaki.lg.jp/material/files/group/36/notebookooku.pdf 児童手当[同上・手当給付係] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/3/6041.html 幼児教育・保育無償化[福祉こども部・こども保育課・認定給付係] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/3/8927.html 子育て支援ガイドブック「すくすくサポート」[同上・こども保育課] https://www.city.isesaki.lg.jp/material/files/group/37/SukuSuku_support.pdf 第3子以降の諸施策[企画部・企画調整課・街づくり推進係] https://www.city.isesaki.lg.jp/isesaki/life/2/5766.html 子どもの医療費の助成（福祉医療制度）[健康推進部・年金医療課・医療助成係] https://www.city.isesaki.lg.jp/soshiki/kenzui/nenkin/iryoujiyosei/2168.html ①就学援助制度[教育部・学校教育課・学務係] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/1/3/6019.html 放課後児童クラブ利用者負担金助成事業・減免制度[福祉こども部・子育て支援課] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/1/3/6021.html ②③市の奨学金制度[教育委員会・総務課・経理係] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/3/5226.html アメリカ合衆国ミズーリ州立大学への留学・授業料減免[教育部・学校教育課・指導係] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/1/3/6018.html ④ひとり親家庭等福祉手当[福祉こども部・子育て支援課・手当給付係] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/3/6039.html ひとり親家庭等小学校入学準備金[同上] https://www.city.isesaki.lg.jp/kosodatenavi/mokuteki/3/9479.html

こども園の情報を一冊にまとめたものである。他に、福祉医療制度（中3まで）、第3子以降の施策（出産祝金 [10 万円]、幼児教育保育副食費補助、学校給食費助成）がある。

①小中学生に関して、就学援助（新入学児童生徒学用品費入学前支給・修学旅行費前払いを含む）の情報には、コロナ禍で家計が急変した場合にも相談して欲しい旨を書き加えている。放課後児童クラブ利用者負担金助成事業・減免制度とは、月 1 万円の利用者負担金を困窮度に応じて全額・半額・1/4 額を補助するものである。②高校生等及び③大学生等に関して、伊勢崎市奨学金は年額で高校生 12 万円、短大・大学生 30 万円を貸与するとともに、3 万円の入学時給付金がある。アメリカ合衆国ミズーリ州立大学への留学授業料減免とは、姉妹都市にある州立大学に留学した際の授業料減免制度である（37.5%減免／各学期 250 ドル、全 5 学期で 1,250 ドル）。

④その他にあるひとり親家庭等福祉手当は、義務教育期間中に対象児童一人につき月額 2 千円を 4 月・10 月の年 2 回に、ひとり親家庭等小学校入学準備金は小学校入学前に 2 万 5 千円を支給するものである。

3. 群馬県太田市（223,730 人 [2021.5.31]）／「第二期

太田市子ども・子育て支援事業計画／次世代育成支援行動計画」2020-24)

ウェブ上にある「おおたの子育て支援パンフレット」（全 8 頁）は関連情報をコンパクトにまとめている。そして、知りたい情報の詳細は、市 HP のトップにある「ライフイベント＞子育て」などから入手できる。必要な生活情報をやさしい日本語等（4 か国語版あり）で説明した「くらしのガイド」（国際交流協会作成）もある。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の情報の他に、子育て短期支援事業（小 6 まで、ショ

ートステイ・トワイライトステイ）、福祉医療費助成制度（中 3 まで）、第 3 子以降子育て支援事業（出産祝金 [10 万円]、保育料免除助成、学校給食費助成 [第 2 子半額、第 3 子以降全額]）がある。

①小中学生に関して、就学援助（新入学用品費の事前支給を含む）（英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語版あり）が案内されている。②高校生等及び③大学生等に関して 4 種の奨学金、すなわち太田市笹川清奨学資金（高校生 2 名以内：年 10 万円支給）、太田ロータリークラブ奨学資金（高校生 2 名：年 18 万円支給）、太田市奨学金（高校生等 5 名程度：月 1 万 3 千円、大学生等 25 名程度：月 3 万 3 千円／貸与）、ソニック・大雄建設奨学資金（大学・大学院生 3 名：年 42 万円／貸与 [年 30 万円分を返還]）がある。

4. 埼玉県熊谷市（195,248 人 [2021.6.1]）／「熊谷市子ども憲章」2006、「第 2 期子ども・子育て支援事業計画」2020-24)

子育て情報を網羅した子育て支援のしおり「子育てガイドブック」（全 52 頁）を作成公開している。また、子育て支援ガイドブック「熊谷で育てる」を発行するとともに、市内 19 か所の地域子育て支援拠点の連絡会「くまっしえ」発の育児ポータルサイト（<https://kumasshe.com/>）も運用している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる。他に、特別誕生祝金（2020.4.28-2021.3.31 出生児：3 万円）、誕生祝金（2021.4.1-出生児：3 万円）、幼児 2 人同乗用自転車購入費一部補助（購入費の半額、上限 3 万円）、こども医療費助成（高 3 まで）がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。他に、学校給食費第三子以降無償化事業、遺児手当

表 3. 太田市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①おおたの子育て支援パンフレット[太田市] https://www.city.ota.gunma.jp/000lifeevent/files/kosodate.pdf
児童手当について[こども課] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-006kyoiku-kodomo/kodomoteatesikumi.html
幼児教育・保育の無償化についてご案内[同上] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-006kyoiku-kodomo/hoikuen/2019-0514-musyouka.html
子育て短期支援事業[こども課・子育て相談係] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-010fukushikodomo-kosodate/tankisien.html
福祉医療費助成制度の概要について[医療年金課] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0070-008kenko-nenkin/ryojukyu.html
第3子以降子育て支援事業[こども課・学校施設管理課] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-006kyoiku-kodomo/shiensaku.html
①就学援助制度[学校教育課] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-003kyoiku-sidou/2013-1021-1809-122.html
②太田市笹川清奨学資金の案内[教育総務課] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-001kyoiku-soumu/sasagawa_end.html
太田ロータリークラブ奨学資金の案内[同上] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-001kyoiku-soumu/rotely.html
②③太田市奨学金の案内[同上] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-001kyoiku-soumu/shougakukin.html
③ソニック・大雄建設奨学資金の案内[教育総務課] https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-001kyoiku-soumu/sonic.html

(月額3千円)がある。②高校生等及び③大学生等に関しては、熊谷市育英資金制度(高校生等:月1万5千円以内、大学生等:月3万円以内/半額以上を返済)、熊谷市入学準備金制度(高校生等:25万円以内、大学生等:50万円以内/貸与)がある。大学等奨学金利子支援事業とは、若者の転入定住を促すために返還した奨学金の利子額(上限3万円)を最長10年間にわたり支援するものである。他に、「ヤングケアラーとは」のページ(こども課)を設けて、2020(令和2)年3月に制定された全国初の「埼玉県ケアラー支援条例」を市HPでも紹介している。

5. 埼玉県所沢市(344,049人[2021.5.31]、中核市候補市/「ところっこすくすくサポートプラン」第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画) 2020-24)

市HPにある「子育て・教育>子どもの教育>手当て・助成など」から関連情報に辿り着くことができる。切れ目のない子育て支援を志向した「ところっこ子育てガイドブック～妊娠・出産・子育て～」(全108頁)を冊子体・PDF版・電子書籍版で公表している。また、教育、子育て、就労、こころの健康についての相談ができる行政機関等の情報を掲載した「所沢市子ども・若者支援ガイド」(PDF版、全8頁)も作成している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる。他に、多子世帯の保育料の軽減、こども医療費助成(中3まで)がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。他に、児童館生活クラブ・児童クラブ保育料の減免制度がある。②高校生等に関しては、育英奨学金(高校生等:月5千円支給)と遺児奨学金(同)がある。②高校生等及び③大学生等の入学準備金貸付制度とは国公立高校等10万円以内、私立高校等30万円以内、大学等40万円以内を貸付けるものである。

6. 埼玉県春日部市(233,205人[2021.6.1]、中核市候補市/「第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画」2020-24)

市HPの「子育て応援サイト」で関連情報を入手できる。また、子育て応援キャラクター「クレヨンしんちゃん」が随所に登場する「子育てガイドブックめばえ」(PDF版、全74頁)を公表し、子育てサービスの概要や関連施設の一覧を掲載したパンフレット「かすかべ“みんなの”子育て支援マップ」も出している。なお、予防接種情報提供サービス「かすかべっこ予防接種ナビ」を運用している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる。他に、こども医療

表4. 熊谷市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①子育てガイドブック[福祉部・こども課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/ninshin/shussan/kodomote/gaibo.files/20210401.pdf
児童手当制度の支給について[同上] https://www.city.kumagaya.lg.jp/smph/kosodate/teate/shin_jidouteate.html
特別誕生祝金の支給について[同上] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/teate/2021tokubetutanjou.html
誕生祝金の支給について[同上] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/teate/2021tanjouwaikinn.html
幼児教育・保育の無償化について[保育課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/smph/kosodate/kodomoshisetsu/hokunusyoso/musyoka.html
幼児2人同乗用自転車の購入費の一部を補助します[こども課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/teate/youji2nori.html
こども医療費の助成[こども課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/smph/kosodate/teate/kodomoiryouhi.html
①就学援助について[教育総務課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kyoiku/kyoikusomu/oshrase/syuuagakuennjo.html
学校給食費第三子以降無償化事業について[同上] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/teate/daisansaikomusyouka.html
遺児手当の支給[こども課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/ninshin/shussan/kodomo/oya/jiteate.html
②③熊谷市育英資金制度と熊谷市入学準備金制度について[教育総務課] https://www.city.kumagaya.lg.jp/kosodate/teate/ikuei.html
③大学等奨学金利子支援事業について[同上] https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kyoiku/kyoikusomu/oshrase/20160721daigakutou.html

表5. 所沢市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①ところっこ子育てガイドブック～妊娠・出産・子育て～[こども未来部・こども政策課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/kodomo_2009120819024534.html
所沢市子ども・若者ガイド[子ども未来部・青少年課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/teate/20140822.html
児童手当について[こども未来部・こども政策課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/kodomoteate/ryoshisei/kodomoiryosei.html
幼児教育・保育無償化について(利用者向け)[こども未来部・保育幼稚園課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/youji-hoku/mushoukagayou.html
多子世帯の保育料の軽減[同上] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/hoikuen/hokuryounituite.html
子ども医療費助成制度について[こども未来部・こども支援課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/kodomoteate/iryojisei/kodomoiryosei.html
①就学援助のご案内[教育委員会・教育総務部・教育総務課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/kodomoteate/shuugakuennjo.html
児童館生活クラブ・児童クラブ保育料の減免制度について[こども未来部・青少年課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/jidokurabu/seisyo20210107152432754.html
②奨学金制度のお知らせ[こども未来部・こども支援課] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/kodomoteate/syuuagakuin3103.html
③高校・大学等の入学準備金貸付制度について[同上] https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyoiku/kosodate/kodomoteate/nyuugakujunbikin2.html

表6. 春日部市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①子育てガイドブックめばえ[こども未来部・こども政策課] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kosodate/jigyuu/mebae.files/zemtai.pdf
児童手当[こども政策課・給付担当] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kosodate/teate/jidoteate.html
こども医療費[同上] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kosodate/teate/iryo.html
幼児教育・保育の無償化[保育課・保育担当] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kosodate/azukeru/hokushisetsu/mushoka.html
①就学援助制度[学務課・学事担当] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kyoiku/shuugakuennjo/syuuagakuennjoseido.html
春日部市未来を育む奨学金[同上] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kyoiku/mirajinza/mirai_shougakuin.html
学校給食の多子世帯への補助制度が始まります[学務課・給食担当] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kyoiku/kyushoku/kyushokuhoho.html
②③入学準備金・奨学金貸付制度[学務課・学事担当] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kyoiku/shuugakuennjo/junbikin.html
④ひとり親家庭のサポートガイド[こども未来部・こども政策課] https://www.city.kasukabe.lg.jp/kosodate_kyoiku/kosodate/shien/hitoriyakataigaibo.files/hitoriyakataigaibo.pdf

費助成（通院：中3、入院：高3まで）がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。他に、春日部市未来を育む奨学金（小1～中3の個人・グループ対象、1件100万円上限、最大5年間実施可能、返済不要）、学校給食の多子世帯への補助制度（第3子以降の学校給食費相当額補助、埼玉県内人口20万人以上の自治体で“初の取組”とされる）がある。②高校生等及び③大学生等の入学準備金・奨学金貸付制度とは、入学準備金が高校等で30万円以内・大学等で50万円以内、奨学金が高校等で月1万円・大学等で月2万円を貸付けるものである。

④その他として、「ひとり親家庭のサポートガイド」（全12頁）が作成公開されている。

7. 埼玉県草加市（250,703人 [2021.6.1]、中核市候補市／「草加市子どもプラン」2020-24）

市HPの「暮らし・手続き＞草加市サービスガイド＞草加市サービスガイド（出産・育児・教育）」は関連サービスの名称と概要が一覧になっており、該当の項目をクリックすると詳細ページに移動するという利便性の高いものである。子育てポータルサイト「そうか子育て応援・情報サイトぼっくるん」を運用している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる。他に、こども医療費助成（通院：中3、入院：高3まで）がある。ところで、埼玉県では3人以上の多子世帯の子育てを応援するために様々な子育てサービスに利用できる「3キユー子育てチケット」（5万円分）を配布しており、市ではその利用を促す広報を行っている。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。他に、外国人学校児童生徒保護者補助金（通学費について年額上限：小学生3万円・中学生5万円で補助）がある。②高校生等及び③大学生等に関しては、入学準備金・奨学金貸付制度（金額は高校等・大学等／国公立・私立で異なる）がある。③大学生等の修学資金貸与制度は、草加市立病院の看護師志望者を想定したものである（月7万円、返還免除あり）。

表7. 草加市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①草加市サービスガイド（出産・育児・教育）[草加市役所] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1212/010/PAGE000000000000034981.html 児童手当[子育て支援課] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1601/010/010/030/PAGE000000000000029256.html こども医療費支給制度[同上] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1601/020/010/010/01.html 多子世帯を応援！3(さん)キユー子育てチケットをご利用ください[同上] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1601/010/010/070/PAGE000000000000053530.html 幼児教育・保育の無償化について[保育課] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1603/020/010/023/PAGE0000000000000061106.html
①就学援助制度[学務課] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s2102/020/010/010/school-attendance.html 外国人学校児童生徒保護者補助金[総務企画課] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s2101/PAGE0000000000000057970.html
②③入学準備金・奨学金を貸し付けます(高等学校・大学等)[同上] http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s2101/030/010/040/kasitukesseidochirasi.pdf
③修学資金貸与制度(看護師)[草加市立病院] http://www.soka-city-hospital.jp/m05/m02/scholarship.html

8. 神奈川県平塚市（257,249人 [2021.6.1]／「平塚市人権施策推進指針」2013（子どもを含む）、「ひらつか子育て応援プラン（第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画）」2020-24）

市HPの「子ども・子育て」「教育」のサイトで関連情報が入手できるほか、「子育て支援ブログ」のページがある。子育て関連の制度や施設などの情報を掲載した「平塚市子育てガイドくすくす」（全83頁）を冊子体・PDF版で公開している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる。他に、小児医療費助成（中3まで）がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。②高校生等に関しては、困窮家庭の高校生等を対象にした平塚市高等学校等修学支援金（80人程度、支給上限月7千円、高等学校等就学支援金及び私立高等学校等生徒学費補助金と併給可能）がある。③大学生等の平塚市保育士就労支援交付金事業は、保育士確保の観点から平塚市内の保育施設に就労する保育士に年額12万円を支給するものであり（最大3年間交付）、「平塚で保育士になりませんか」と題した動画も配信されている。

表8. 平塚市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①平塚市子育てガイドくすくす[健康こども部・保育課] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/common/200087813.pdf 児童手当・特例給付[こども家庭課・児童手当医療担当] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kodomo/page-c_03182.html 小児医療費の助成[同上] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kodomo/page-c_03167.html 幼児教育・保育の無償化制度について[保育課・保育担当] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kodomo/page82_00122.html
①児童生徒就学援助制度[学務課] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyoiku/page-c_02116.html
②平塚市高等学校等修学支援金[同上] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyoiku/page-c_02116.html
③平塚市保育士就労支援交付金事業[保育課・保育担当] http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kodomo/page82_00193.html 動画「平塚で保育士になりませんか」[同上] https://www.youtube.com/watch?v=nBQVilySx6A&list=PLz2IrvxNEf5VqzqD9p7A1MCaGLcUB1

9. 神奈川県小田原市 (188,482 人 [2021.6.1] / 「第2期小田原市子ども・子育て支援事業計画」2020-24)

市 HP の「暮らしの情報>子育て」または「>教育」で関連情報を得ることができる。加えて、「小田原市子育てガイドブック」(全 68 頁)を冊子体・PDF 版で作成公開している。また、切れ目のない継続した支援のために小田原市子育て世代包括支援センターははっぴいを開設するとともに、妊娠中から出産、産後のサポートをする電子母子手帳アプリおだわらっこ手帳、市民参加型による小田原子育て情報サイト Pintacco (ぴんたっこ)を運用している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に、小児医療費助成(中3まで)がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。②高校生等に関しては、小田原市高等学校等奨学生(困窮する高校生等 100 人を対象に年 4 万円を給付)がある。この制度は生活保護の高等学校就学費の給付を受ける場合は対象外となるが、生活保護を利用する子どもの高校進学を応援するために「高校進学のしおり」(全 4 頁)を作成し、神奈川県高校生等奨学給付金制度などの活用を促している。③大学生等の小田原市立病院看護師等奨学生は、小田原市立病院に将来勤める看護師・助産師を想定したものである(奨学金:月額看護師 5 万円、助産師 8 万円、返還免除あり/生活資金:月額ともに 3 万円、返還免除なし)。

④その他として、ひとり親家庭のしおり(全 43 頁)を作成公開している。

表9. 小田原市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①小田原市子育てガイドブック[小田原市健康保健センター・健康づくり課] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/global-image/units/431909/1-20190902123408.pdf 児童手当について[子ども青少年部・子育て政策課・手当医療係] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/kosodate/assistance/childallowance/jidouate_kaishi.html
小児医療費助成制度について[同上] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/service/iryou/syouni/syoniiryou.html 幼児教育・保育の無償化[小田原市] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/kosodate/nursery/child_education_free/
①令和3年度就学援助申請のご案内[教育部・教育指導課・学事係] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/global-image/units/467817/1-20210218145328.pdf
②令和3年度小田原市高等学校等奨学生の募集について[同上] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/education/assistance/syugaku/p07759c.html 高校進学のしおり[小田原市福祉事務所/生活支援課・保護係] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/global-image/units/386391/1-20190422143239.pdf
③令和3年度小田原市立病院看護師等奨学生採用試験[小田原市立病院] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/hospital/nurserecruitment/scholarship.html
④ひとり親家庭のしおり[子育て政策課] https://www.city.odawara.kanagawa.jp/global-image/units/383514/1-20200703180531.pdf

10. 神奈川県茅ヶ崎市 (242,798 人 [2021.6.1] / 「第2期茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」2020-24)

市 HP の「ライフシーン>入園・入学」で関連情報を得ることができる。「茅ヶ崎市子育てガイドブック愛」の冊子体・PDF 版(全 70 頁)・電子書籍版を作成公開している。また、「ちがさき子育て応援サイト Lei Aloha (レイ・アロハ)」を運用している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる。他に、小児医療費助成制度(中3まで)があり、さらにそれを補う形で 2021 年度には新型コロナウイルス感染症の影響に伴う小児医療費助成事業を設けている。子育て短期支援事業とは、子ども(満2歳~12歳)を一時的に預かって食事や身の回りの世話、学習支援を行うもので、平日の夕方から夜までの日帰り(トワイライトステイ)と宿泊(ショートステイ)の2種類がある。軽度・中等度難聴児を対象に補聴器購入等助成(購入・修理に要する費用の2/3を助成)がなされている。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。子ども食堂支援事業補助金とは、茅ヶ崎市子ども未来応援基金活用事業の一環として、子ども食堂を運営する団体に対して開設経費及び運営経費の補助を行うものである(2020-24年度限定)。②高校生等に関して市独自の施策は特にないが、神奈川県などの各種奨学金の案内がされている。③大学生等の「ちがさき保育士応援策(茅ヶ崎市保育士確保策)」は、国の補助制度を活用した家賃補助(保育士宿舍借り上げ支援事業)、神奈川県が行う保育士修学資金貸付等事業の活用呼びかけに加えて、市内の民間保育園に新たに勤務した場合に一時金を交付する「ちがさき保育士就職奨励金」(1年目:10万円、2年目:10万円)を設けている。

表10. 茅ヶ崎市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①茅ヶ崎市子育てガイドブック愛[こども育成部・子育て支援課・子育て推進担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/1004910.html 児童手当[こども育成部・子育て支援課・手当給付担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/teate/1004813.html 小児医療費助成制度[同上・子育て推進担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/teate/1014284/1004038.html 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う小児医療費助成事業[同上] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/teate/1014284/1025972.html 子育て短期支援事業[同上] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/1004804/1004934.html 軽度・中等度難聴児補聴器購入等助成[福祉部・障がい福祉課・障がい者支援担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/shogai/1028467.html 幼児教育・保育無償化について[茅ヶ崎市役所] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/1032038/1032039.html
①令和3年度就学援助[教育総務部・学務課・学事担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/shogakko/1005140.html 子ども食堂支援事業補助金[こども育成部・子育て支援課・子育て推進担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/1024672/1031755/1040358.html
②各種奨学金等のご案内[教育総務部・学務課・学事担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/shogakko/1005145.html
③ちがさき保育士応援策(茅ヶ崎市保育士確保策)[こども育成部・保育課・管理整備担当] https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kosodate/hoikuen/1029746.html

1 1. 神奈川県厚木市 (223,960 人 [2021.6.1] / 「厚木市子ども育成条例」2012 公布、「あつぎ子ども未来プラン (第 3 期)」2020-24)

市 HP にある「子育てポータルサイト」(育児を応援する行政サービス情報ガイド「おおきくなあ〜れ」を 2020 年度で中止して移行)から関連情報を得ることができる。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化についての情報が得られる他に、こども医療費助成(中 3 まで)がある。紙おむつやおしりふきを支給する厚木市子育て日常生活支援事業(月 4,500 円相当/第 1・2 子は申請翌月から 12 か月、第 3 子は申請翌月から 2 歳の誕生月まで)がある。なお、軽度・中等度難聴児補聴器の購入費助成もある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。②高校生等に関しては、厚木市久保奨学金(高校等への入学準備奨学金：6 万円支給、高校等の修学奨学金年額 12 万円支給、など)がある。③大学生等の介護職人材確保支援事業には、復職者・転入者への助成(20 万円)の他に、奨学金を活用して資格取得し奨学金の返済をしながら厚木市内の介護保険指定事業所等で就労している者を対象とした介護福祉士等奨学金返済助成金(奨学金の返済に要した費用の一部[1 年あたり上限 20 万円、最長 3 年間・最大 60 万円]を補助)などがある。

表 11. 厚木市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①育児を応援する行政サービス情報ガイド「おおきくなあ〜れ」[こども未来部・こども育成課・こども政策係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/soshiki/kodomoikuseika/9/2006.html 児童手当・特例給付について[こども未来部・子育て給付課・こども医療手当係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate/hozyo_shienseido/kosodate_support/20532.html 子ども医療費助成[同上] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate/hozyo_shienseido/kosodate_support/20531.html 紙おむつやおしりふきを支給します[同上] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate/hozyo_shienseido/kosodate_support/20798.html 軽度・中等度難聴児補聴器の購入費を助成します[福祉部・障がい福祉課・障がい者支援第二係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate/hozyo_shienseido/mishugaku_support/20541.html 厚木市幼児教育・保育の無償化について[こども未来部・こども育成課・こども政策係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate_kyoiku/teate_josei/5/14504.html
①就学援助[教育委員会・学校教育課・学務課・学務係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate_kyoiku/sho_chugakko/12/14713.html
②令和 3 年度厚木市久保奨学金のご案内[教育総務部・教育総務課・教育総務係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/kosodate_kyoiku/sho_chugakko/12/1/14732.html
③介護職のあなたを応援しています[福祉部・介護福祉課・介護給付係] https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/teijusokushin/shigoto/kakushu_zyosei/20505.html

1 2. 神奈川県大和市 (240,911 人 [2021.7.1] / 「改訂版 大和市人権指針」(「子どもの人権課題」を含む) 2016、「第二期大和市子ども・子育て支援事業計画ハートンプラン」2020-24)

大和市では 2021 年 3 月に自治体版コーポレートサイト「ようこそ図書館城下町大和市へ」とともに、子育て関連情報を年齢毎、すなわち「妊活、妊娠したら、出産したら、0 歳、1～2 歳、3 歳～就学前、小学生、中学生」別にまとめた「子育てするなら絵本のまち 大和の子育てを応援するサイト」を公開している。ブックスタートや学校図書館・公立図書館サービスにも力を入れている。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育無償化の情報の他に小児医療費助成(中 3 まで)がある。

①小中学生に関して、一般的な就学援助の案内に留まらず、学校病の医療費(医療券の交付)、めがね購入費(めがね注文書等の交付)の補助を特に広報している。また、第 3 子以降の学校給食費助成(小中学生 3 人以上の 3 子以降)、小学 5 年生～中学 3 年生までの自転車保険加入(最大 1 億円までの損害賠償責任補償)もある。②高校生等に関しては、大和市奨学金給付事業(困窮する高校生に年 4 万円支給)がある。

表 12. 大和市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①児童手当[こども部・こども総務課・手当医療係] http://www.city.yamato.lg.jp/ehon_no_machi/age/G/C00007.html 小児医療費助成[同上] http://www.city.yamato.lg.jp/ehon_no_machi/age/G/C00006.html 幼児教育・保育無償化[こども部・ほいく課] http://www.city.yamato.lg.jp/web/katei/musyuka.html
①就学援助[教育部・学校教育課・学務係] http://www.city.yamato.lg.jp/web/kyoiku/enjo.html 学校病の医療費を補助します[教育部・保健給食課・保健給食係] http://www.city.yamato.lg.jp/ehon_no_machi/age/G/G00016.html めがねの購入費の補助が受けられる場合があります[同上] http://www.city.yamato.lg.jp/ehon_no_machi/age/G/G00017.html 第 3 子以降の学校給食費を補助[同上] http://www.city.yamato.lg.jp/ehon_no_machi/age/G/G00013.html 小学 5 年生～中学 3 年生まで自転車保険に加入 [街づくり施設部・道路安全対策課・交通安全自転車対策係] http://www.city.yamato.lg.jp/ehon_no_machi/age/G/G00014.html
②大和市奨学金給付事業について[教育部・学校教育課・学務係] http://www.city.yamato.lg.jp/web/kyoiku/kyoiku01212199.html

1 3. 新潟県長岡市 (264,929 人 [2021.6.1] / 「第 2 期長岡市子育て・育ち“あい”プラン」2020-24)

市 HP の「子育て・教育」ページから関連情報が入手できる。子育て支援情報をまとめた「子育てガイドブック子どもたちの健やかな成長のために」(市教育委員会、市子ども未来部子ども・子育て課)を編集発行しており(PDF 版、全 78 頁)、切れ目なく支援する制度として「長岡版ネウボラ」を巻頭で説明している。また、育児を応援する行政サービスガイド「子育てナビ」も運用されている。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に、こどもの医療費助成（中3まで）の情報があ

る。
①小中学生に関して、就学援助が案内されている。小中学校の全国大会等出場者報奨金交付制度とは、北信越相当の大会等や全国大会等、国際大会等に出場する小中学生の栄誉を称え、スポーツ活動、文化活動等への参加促進のための報奨金交付制度である（北信越相当の大会等3千円、全国大会等1万円、国内開催の国際大会等2万円、国外開催の国際大会等5万円）。

②高校生等及び③大学生等に関しては、高等学校・大学等の援助制度のタイトルで、私立高校等への学費軽減制度、県立高校等への授業料等減免制度、高校の奨学金、大学等の奨学（修学）金のあることが広報されている。米百俵財団では、高校留学奨学金給付（長期3人、短期5人）、大学生等を対象とした奨学金貸付が行われている。

表13. 長岡市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①子育てガイドブック[子ども子育て課] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate02/jyohou/kosodate-guide.html 児童手当[子ども子育て課・児童手当担当] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate01/child-allowance/index.html 子どもの医療費助成[福祉課] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate01/nyuyouji.html 幼児教育・保育の無償化についてのご案内[保育課] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate02/free_ed.html
①小・中学校の就学援助制度[学務課] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate03/teate/enjoyo.html 小中学校の全国大会等出場者報奨金交付制度[同上] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate03/teate/zenkoku-jyosei.html
②③高等学校・大学等の援助制度[同上] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kosodate/cate03/teate/enjoyo2.html 米百俵財団[教育総務課] https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate12/kome100zaidan/

14. 新潟県上越市（188,153人 [2021.5.1]）／「上越市子ども・子育て支援総合計画」2020-24

市 HP の「子育て・教育・スポーツ」のページから、関連情報に辿り着くことができる。「じょうえつ子育てinfoハンドブック」（PDF版、全84頁）を作成公開するとともに、子育て応援ナビ「上越市子育て応援ステーション」を運用している。

①就学前に関して、児童手当、保育の無償化の情報の他にこども医療費助成制度（高3まで）がある。子育てジョイカードとは、3人以上の多子世帯に対して協賛店から商品割引などを提供するものである。

①小中学生に関して、就学援助の情報があ。②高校生等及び③大学生等に関して、「上越市の奨学金制度を紹介します」のページで上越学生寮奨学金（7～8人：大学生月7万円、大学院・学術研究者月10万円貸与）、上越市奨学金（20人程度：高校等月1.5万円、大学・大学院等月4万円貸与）、市内に居住しながら市外の大学等に通学する学生を支援し若者世代の将来にわたる定住を促すことを目的とした上越市定住促進奨学金（上限なし：月6万円を上限に定期券購入費貸与 [返還減免あり]）を案内している。

④その他として、ひとり親家庭等ガイドブック（PDF版、全23頁）を作成公開している。

表14. 上越市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①じょうえつ子育てinfoハンドブック[子ども課] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kodomo/kosodateinfo.html 児童手当[同上] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kodomo/kodomo23-10.html 子どもの医療費助成制度[同上] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kodomo/lifeguide-324.html 子育てジョイカード地域みんなで子育てを応援しよう[同上] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kodomo/joy-card.html 保育の無償化[保育課] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/hoiku/musyoka.html
①就学援助制度[学校教育課・学事庶務係] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/j-gaku/lifeguide-513.html
②③上越市の奨学金制度を紹介します[上越市] https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kikaku/jyousei-syougakukin.html
④ひとり親家庭等ガイドブック[子ども課] https://www.city.joetsu.niigata.jp/uploaded/life/162174_227619_misc.pdf

15. 静岡県沼津市（192,338人 [2021.6.1]）／「第2期沼津市子ども・子育て支援事業計画」2020-24

市 HP の「ライフイベントから探す>子育て」をクリックすると、「沼津市子育てポータルサイト」に飛んで関連情報を見つけることができる。また、「ぬまづ子育てガイドブックいきいきぬまづっこ」（PDF版、全68頁）を作成公開している。各種 SNS としては、「Proud NU MAZU kosodate」LINE アカウント、子育てぬまづ暮らし Face-book、子育て応援モバイルサイト「ぬまづ子育て応援団」も用意している。

表15. 沼津市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①ぬまづ子育てガイドブック[市民福祉部・子育て支援課] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kosodate/tetsuzuki/doc/2020guidebook.pdf 児童手当[こども家庭課・こども手当係] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kosodate/tetsuzuki/jidoteate.html 子どもの医療費助成[市民福祉部・こども家庭課] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kosodate/byoki/kodomoiroyi.htm 幼児教育・保育の無償化について[同上] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kosodate/tetsuzuki/mushouka.htm
①就学援助制度[教育委員会事務局・学校管理課] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/numazushi/syugakuenjyo.htm
③沼津市立養護学生制度について[同上] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/ikuei/index.htm 沼津市奨学金返還支援制度について[産業振興部・商工振興課] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/fukushi/roudou/syurou/shogakukinhenkan.htm
④ひとり親家庭のしおり[子ども家庭課] https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kosodate/hitorioya/doc/hitorioya_shiori.pdf

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の情報の他に、子ども医療費助成（高3まで）がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。③大学生等に関して、沼津市育英奨学生制度（大学等、上限10人、年12万円給与）がある。沼津市奨学金返還支援制度とは、市の産業を担う人材の確保を図るために産業界と協力して、大学等を卒業後に沼津市内に就職し市内に居住した者を対象に奨学金返済の一部を補助する制度である（年24万円、最長5年120万円まで）。

④その他として、ひとり親家庭のしおり（PDF版、全4ページ）がある。

16. 静岡県富士市（251,317人[2021.6.1]、中核市候補市／「富士市子どもの権利条例」2021予定、「第二期富士市子ども・子育て支援事業計画」2020-24）市HPの「健康・福祉・子育て＞子育て」ないし「教育・文化・スポーツ＞学校教育」において関連情報を得ることができる。子育て情報を集約した「子育てガイドはぐくむFUJI」冊子体・PDF版（全85頁）及び「季刊誌はぐくむFUJI」を作成公開している。なお、「はぐくむFUJI」（https://hagukumu-fuji.jp/news_cat/information/）や「子育てサークル応援サイト」も運用されている。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の情報の他に、こども医療費の助成（高3まで）がある。

①小中学生に関して、「小中学校の教育費用に困るとき」のタイトルで就学援助が案内されている。母子家庭等児童入学祝金とは、ひとり親家庭の子の小学校又は中学校に入学する際に入学祝金（1万円）を支給するものである。②高校生等に関しては、「高校の学費が必要な時の奨学金制度は？」のタイトルで富士市育英奨学金（上限35人、月1万円給付、高校生3年間・高専生5年間）が案内されている。②高校生等及び③大学生等としては富士市以外が行う奨学金制度が広報されている。③大学生等の看護職員修学資金貸与事業とは、地域医療の充実を目的に将来富士市内の民間医療機関に勤務する意思を持つ看護職（看護師・助産師）志望者に月5万円を貸与するものである（返還免除あり）。また、富士市病院事業助産師修学資金貸与案内（富士市立中央病院：2名、返還免除あり）もある。

表16. 富士市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①子育てガイドはぐくむFUJI[こども未来課] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kenkou/c0201/fmervo0000007i07.html
児童手当[こども家庭課・子育て給付担当] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kenkou/c0202/fmervo0000000gmn.html
こども医療費の助成[同上] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kenkou/c0202/fmervo0000000gg6s.html
令和3年 幼児教育・保育の無償化について[保育幼稚園課・施設支援担当] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kenkou/c0203/rn20la0000021hbb.html
①小中学校の教育費用に困るとき[学務課・学事担当] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0202/fmervo00000005gvy.html
母子家庭等児童入学祝金[こども家庭課・子育て給付担当] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kenkou/c0202/fmervo0000000fdtv.html
②高校の学費が必要な時の奨学金制度は？[学務課・学事担当] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0202/fmervo000000034h0.html
②③その他の奨学金制度の概要[同上] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0202/fmervo000000034h0-att/fmervo000000034n1.pdf
③看護職員修学資金貸与事業の修学生募集について[保健医療課] https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kenkou/c0101/fmervo0000000fptr.html
令和3年度富士市病院事業助産師修学資金貸与案内[富士市立中央病院] http://byoin.city.fuji.shizuoka.jp/kango/saiyou/zyosansisyugakusikintaiyoannai2.html

17. 愛知県春日井市（310,541人[2021.6.1]、中核市候補市／「第2次新かすがいっ子未来プラン」2020-24）

市HPにある「子育てに役立つ情報」バナーをクリックすると、「春日井っ子みらいネット」に飛んで関連情報にアクセスできるようになっている。諸情報をまとめた「かすがい子育て応援ガイドブック」（PDF版、全52頁）、「子どもの救急ハンドブック」（PDF版、全23頁）も出している。思春期・青年期を含めた「子ども・若者のための総合相談窓口」を設けている。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の他に

表17. 春日井市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①かすがい子育て応援ガイドブック[福祉部・子育て支援課] https://www.city.kasugai.lg.jp/mirai/1002397/kosodate/kosodate_guidebook.html
児童手当・特例給付[青少年子ども部・子ども政策課] https://www.city.kasugai.lg.jp/mirai/fukushi/kodomoteate.html
子ども医療費助成[市民生活部・保険医療年金課] https://www.city.kasugai.lg.jp/mirai/fukushi/iryouhi.html
幼児教育・保育の無償化について[青少年子ども部・保育課] https://www.city.kasugai.lg.jp/mirai/1002319/hoikuen/1017706.html
①就学援助制度について[教育委員会・学校教育課] https://www.city.kasugai.lg.jp/shisei/kyoiku/school/1009202.html
民間児童クラブ利用費補助[青少年子ども部・子ども政策課] https://www.city.kasugai.lg.jp/mirai/1002319/1002346/1002349.html
③学生医療費助成[市民生活部・保険医療年金課] https://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/fukushi/kakusuiyurou/1019892.html
奨学金等返済支援補助金[産業部・経済振興課] https://www.city.kasugai.lg.jp/business/kigyo/jinzaikakuho/1024116.html
看護修学資金制度[春日井市民病院・管理課・庶務担当] https://www.hospital.kasugai.aichi.jp/kango/recruit/syougakukin.html
④ひとり親家庭のしおり[福祉部・子育て支援課] https://www.city.kasugai.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/002/22/R3hitoriyano-shiori.pdf

こども医療費助成（中3まで）の案内がある。医療費助成は高校段階にはないが、ひとり親家庭の大学生等を対象（18～24歳）に学生医療費助成がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。民間児童クラブ利用費補助とは、民間施設を利用する際に生じる公施設利用料（月9千円）との差を小さくするために月額最大6千円の補助を行うものである。③大学生等としての奨学金等返済支援補助金は、人材確保を図るため、奨学金等の返済を支援する制度設けている市内中小企業に対して補助金（上限8万円）を交付する制度である。看護修学資金制度は、春日井市民病院に就職予定の看護師を対象に修学資金を貸与するものである（月5万円、返還免除あり）。

④その他として、ひとり親家庭のしおり（PDF版、全39頁）が作成公開されている。

18. 三重県四日市市（310,416人 [2021.6.1]、中核市候補市／「四日市市人権教育・啓発基本方針」（「子ども」を含む）2007、「第2期四日市市子ども・子育て支援事業計画」2020-24）

市HPの「子育てエンジョイ」のページから関連情報を探ることができる。また、「四日市子育てガイドブック」（電子書籍版、全60頁）を作成公開し、子育て支援アプリ「よかプリコ」を配信している。

①就学前に関して、児童手当の情報の他にこども医療費助成（中3まで）がある。第2子以降子育てレスパイトケア事業とは、第2子以降の子の出産後における親の心身の負担軽減を図るため、産後12か月に限り、認可保育園・こども園が実施する一時保育に保育無料券を利用して上の子を2回まで無料で預けることができる事業である（仕事、冠婚葬祭、リフレッシュなど）。なお、幼児教育・保育の無償化に関する情報は特に見出し項目ではなく、「国・県の取り組み」ページの情報に一括されている。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。②高校生等及び③大学生等の四日市市奨学会の育英制度とは奨学金の貸与（高校生等：月1万2千円、大学生等：月2万4千円）、入学支度金の給与（同じく4万円、5万円）を行うものである。③大学生等の四日市市科学教育奨学金は、海外で理科系の学問を学ぶ人材の支援育成及び科学教育の振興のため、毎年1人、2年間の留学期間を上限に月10万円を支給するものである。

表18. 四日市市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①子育てガイドブック（電子書籍版）[四日市市] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/files/bookdata2019/html5.html#page=3
児童手当[こども未来部・こども保健福祉課] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001222/index.html
子ども医療費助成[同上] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001220/index.html
第2子以降子育てレスパイトケア事業[同上] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000001275/index.html
①令和3年度就学援助について[教育委員会事務局・学校教育課] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000002378/index.html
②③四日市市奨学会の育英制度[教育委員会事務局・教育総務課] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000002404/index.html
③四日市市科学教育奨学金[同上] https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000002403/index.html

19. 大阪府岸和田市（191,781人 [2021.6.1]／「岸和田っ子宣言」1992、「第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画」2020-24）

市HPの「暮らし>子ども」「>学校」で関連情報を探ることができる。他市のように冊子体の子育てガイドブックは発行していないが、育児を応援する行政サービスガイド「岸和田市ママほっと」を運用している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に子ども医療費の助成（中3まで）の案内がある。子育て短期支援事業とは、家庭での養育が一時的に困難となった時に児童養護施設等で短期に預かるショートステイ、平日の夜間または休日に預かるショートステイの事業である。

①小中学生に関して就学援助が案内されている。②高校生等、③大学生等に関しては特に情報はない。

表19. 岸和田市

①就学前、①小中学生、②高校生等（中卒後）、③大学生等（高卒後）、④その他
①岸和田市育児を応援する行政サービスガイドママほっと[岸和田市] https://kishiwada-city.mamafre.jp/service/
児童手当の手続き[子ども家庭課・子育て給付担当] https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/34/jidouteatetsuzuki.html
子ども医療費の助成[子ども家庭課・医療助成担当] https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/34/kodomoiryoujosei.html
子育て短期支援事業[子ども家庭課・子ども家庭相談担当] https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/34/jidou-kosodate.html
幼児教育・保育の無償化について[子育て施設課] https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/35/musyoyuka.html
①令和3年度岸和田市立小・中学校児童生徒の就学奨励（しゅうがくしょうれい）制度 [教育総務部・総務課・学事担当] https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/63/r03syuugakusyorei.html

20. 大阪府茨木市 (257,316 人 [2021.5.1] / 「次世代育成支援行動計画 (第4期)」2020-24)

市 HP の「暮らしの場面から探す>妊娠・出産・子育て」「>学校・進学」で関連情報を探することができる。子育て情報をまとめた「子育てハンドブック」(巻末には子どもの権利条約第3条「子どもの最善の利益」が掲載されている)を冊子体・電子書籍版・PDF 版(全97頁)で用意している。「次世代育成支援行動計画(第4期)」には、別冊「子どもの貧困対策について あなたと私にできること」(全12頁)、「ひきこもり支援ガイドブック」(全52頁)が付いている。なお、茨木市子ども・若者支援地域協議会から「茨木市相談機関への道しるべ」を出しており、子どもから成人におよぶ困り事・悩み事の相談支援を志向している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に、こども医療費助成(高3まで)の案内がある。

①小中学生に関して、就学援助に加えて、小学校入学準備金が別途に案内されている。②高校生等及び③大学生等に関しては、学校教育部・学校教育推進課が「ゆめ実現支援事業」と銘打って奨学金活用相談を呼び掛けるとともに、「奨学金をひろく活用するために」のサイトを設けている。市独自のものとしては、茨木市奨学金(困窮家庭対象の高校等入学支度金、第1子10万円・第2子以降16万円支給)がある。③大学生等の大学奨学金利子補給事業は、大学等卒業後の若者の移住・定住を促す目的で奨学金の利子補填を行うものである(40歳未満、最大2万円を10年間)。

表20. 茨木市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①茨木市子育てハンドブック[こども育成部・子育て支援課・子育て支援総合センター]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kodomokusei/kosodate/menu/kosodatehienago/jigyoumai/handbook.html
児童手当について[こども育成部・こども政策課]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kodomokusei/kodomos/menu/teate/kodomoteate.html
こども医療の対象年齢を拡大します[同上]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kurashi/fukushi/jido/1312439322596.html
幼児教育・保育の無償化の手続きについて[こども育成部・保育幼稚園事業課]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kodomokusei/jigyoku/menu/musyoku/43927.html
①就学援助制度[教育委員会・教育総務部・学務課]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kurashi/kodomo/gakko/enjo/46952.html
小学校入学準備金(入学前支給)[同上]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kyoikuinkaiyokusoumu/gakumu/menu/shugakuenjo/nyugakuunbiki.html
②③「夢を実現する奨学金」奨学金をひろく活用するために[学校教育部・学校教育推進課]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kurashi/kodomo/shogakukin/1315203906132.html
茨木市ゆめ実現支援事業[同上]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/material/files/group/56/shougaku.pdf
③大学奨学金利子補給事業[こども育成部・こども政策課]
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kurashi/kodomo/shogakukin/1438128192783.html

21. 兵庫県加古川市 (260,036 人 [2021.6.1] / 「第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画」2020-24)

市 HP の「子育て・教育」ページ及び「加古川市子育てサイト」から関連情報を探することができる。「加古川市子育て応援情報誌かこたんガイド」の冊子を母子健康手帳交付時に配布するとともに、PDF 版(全84頁)・電子書籍版も公開している。また、「かこがわ子育て応援アプリかこたんナビ」を提供している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に、乳幼児任意予防接種費用一部助成(おたふくかぜ2千円)、こども医療費助成(0歳～小3、小4～中3)の案内がある。

①小中学生に関して、就学援助が案内されている。②高校生等に関して特に情報はない。③大学生等に関しては、かこがわ奨学金返還支援補助金(加古川市内在住者：市内通勤年間最大24万円、同市外通勤者12万円)に加えて、保育士等就労支援一時金などの情報がある。

表21. 加古川市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①加古川市子育て応援情報誌かこたんガイド[こども政策課]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodate/site/genre/9/31836.html
児童手当[家庭支援課・手当給付係]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodate/site/seicho/4/5/1/17680.html
不妊治療費助成事業[育児保健課]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikarasagau/kodomo/ikujishienka/funinfuku/1457677793945.html
乳幼児への任意予防接種費用の一部を助成します[同上]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodatekyoku/kodomonohoken/kodomonyoboseshu/1413512989149.html
乳幼児等医療費助成制度[医療助成年金課・医療助成係]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodate/site/seicho/4/5/2/17682.html
こども医療費助成制度(小学校4年生から中学校3年生まで)[同上]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodate/site/seicho/4/5/2/17683.html
幼児教育・保育の無償化について[幼児保育課・入園係]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodate/apps/kosodate-support/kindergarten_etc/musyoku/1571971946902.html
①令和3年度就学援助制度について[学務課]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodateapps/kosodate-support/primary_school_etc/about_school_attendance_subsidy/26979.html
③令和3年度ぐうと！かこがわ奨学金返還支援補助金[産業振興課・労働政策係]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kurashi/31669.html
保育士になるなら加古川市で！[幼児保育課・管理係]
https://www.city.kakogawa.lg.jp/kosodatekyoku/oshrase/28769.html

22. 兵庫県宝塚市 (225,789 人 [2021.6.1] / 「宝塚市子ども条例」2007、「宝塚市次世代育成支援行動計画(子ども・子育て支援事業計画)」2015-24)

市 HP の「教育・子ども・人権」から入って関連情報を探することができる。宝塚市子育て・子育てガイド「たからばこ」の冊子体(多言語版あり)を母子健康手帳交付時に配布するとともに、電子書籍(全84頁)を公開している。他に育児を応援する行政サービスガイド「宝塚市ママフレ」を運用し、「きらきら子

育てメール」、メルマガ「たからっ子メール」、子育て通信「きらきら」を配信し、子ども向けホームページ「たからづか KIDS」を設けている。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に、乳幼児等医療費助成・こども医療費助成（0歳～小3、小4～中3）、子育て家庭ショートステイ（1か月7日以内）の案内がある。

①小中学生に関して就学援助の他に、交通災害遺児就学奨励金（従来の図書カードに代えて2020年度から現金支給：年額小中学生3万円、高校生等5万円）の案内がある。②高校生等及び③大学生等に関しては、国・県の奨学金制度が充実してきたことから宝塚市奨学金（高校生対象の給付型奨学金、高大生対象の貸付型奨学金、高校入学前の私立高校入学支度金斡旋）を廃止している。③大学生等に関しては、宝塚市ひとり親家庭大学生等奨学給付金（大学生等20万円給付、1回限り）、保育士確保に向けた取り組み～宝塚市の保育所で働きませんか～（兵庫県保育協会の修学資金を含む）の案内がある。

表22. 宝塚市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①宝塚子育て・育ちガイド「たからばこ」[子ども未来部・子ども家庭室・子ども家庭支援センター] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/kosodateinfo/1000570.html
児童手当制度[子ども未来部・子ども家庭室・子育て支援課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/teate/1000197.html
乳幼児等医療費助成・こども医療費助成[市民交流部・市民生活室・医療助成課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kurashi/nenkin/1041227/1040013.html
子育て家庭ショートステイ[こども未来部・保育課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/kosodateishien/1040228.html
幼児教育・保育の無償化について[子ども未来部・子ども育成室・保育事業課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/gakkoshisetsu/1000105/1038703.html
①就学援助制度について[教育委員会・管理部・管理室・学事課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/teate/1000529.html
交通災害遺児就学奨励金の支給について[子ども未来部 子ども家庭室 子育て支援課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/teate/1000530.html
②③宝塚市奨学金条例を廃止する条例の制定について[管理部・学事課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/res/projects/default/project/page/001/036/419/20200302.bunkyo.26.1.pdf
③宝塚市ひとり親家庭大学生等奨学給付金の希望者を募集します [教育委員会・管理部・管理室・学事課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/teate/1028510/index.html
保育士確保に向けた取り組み～宝塚市の保育所で働きませんか～ [子ども未来部・子ども育成室・保育企画課] https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/gakkoshisetsu/1000105/1036222/index.html

23. 佐賀県佐賀市 (230,853人 [2021.5.31]、中核市候補市／「佐賀の未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例」2007、「第2期佐賀市子ども・子育て支援事業計画」2020-24)

市HPの「子育て・教育」ページから関連情報を探することができる。「佐賀の子育てガイドブック Hug」(全16頁)を作成公開するとともに、妊娠・出産・子育てをサポートする「にこさがアプリ」を用意している。

①就学前に関して、児童手当、幼児教育・保育の無償化の他に、子どもの医療費助成(中3まで)、難聴児補聴器購入費助成(補聴器購入修理、人工内耳外機更新)の案内がある。

①小中学生に関して、就学援助についてコロナ禍による家計急変世帯への案内がある。②高校生等及び③大学生等の「高校生や大学生への奨学金にはどのようなものがありますか?」は、奨学金に関する質問に対して国や県の奨学金を案内したものである。

④その他として、「ひとり親家庭くらしのハンドブック」(全68頁)を作成公開している。

表23. 佐賀市

①就学前、①小中学生、②高校生等(中卒後)、③大学生等(高卒後)、④その他
①佐賀の子育てガイドブック Hug [子育て支援部・子育て総務課] https://www.city.saga.lg.jp/main/13644.html
不妊の悩みをお持ちの方へ(不妊治療助成)[保健福祉部・健康づくり課・母子保健係] https://www.city.saga.lg.jp/main/22665.html
児童手当について[こども家庭課・子育て給付係] https://www.city.saga.lg.jp/main/3789.html
「子どもの医療費助成制度」について[同上] https://www.city.saga.lg.jp/main/13594.html
佐賀市難聴児補聴器購入費助成事業について[保健福祉部・障がい福祉課・生活支援一係二係] https://www.city.saga.lg.jp/main/61270.html
幼児教育・保育の無償化について[子育て支援部・保育幼稚園課・幼保事業係] https://www.city.saga.lg.jp/main/54153.html
①ご存知ですか?就学援助[教育部・学事課・学務係] https://www.city.saga.lg.jp/main/1938.html
(コロナウイルス対策)家計が急変した世帯に対する就学援助のご案内[同上] https://www.city.saga.lg.jp/main/71624.html
②③高校生や大学生への奨学金にはどのようなものがありますか? [教育部・教育総務課・教育政策係] https://www.city.saga.lg.jp/faq/index.php?action=detail&uid=2041
④「ひとり親家庭くらしのハンドブック」を配布しています[こども家庭課・ひとり親支援係] https://www.city.saga.lg.jp/main/7324.html

おわりに：教育費支援情報に関する施行時特例市の広報・施策の特徴

施行時特例市の23市における教育費支援情報に関する広報・施策の特徴としては、第三報の中核市と同様に、以下7点がまず挙げられる。

第一に、情報へのアクセシビリティにおいて、多くの市が未識字者・障がい者・高齢者・外国人などへのHP自体の機能的な配慮(文字の大きさ、読み上げ、ひらがな、背景色・文字色の変更、自動翻訳など)を行っており、子育て情報に関しても同様の機能が使える。他に、PDF資料などに多言語を用意したところ(つくば市、太田市、宝塚市)、多文化共生を進める国際交流協会など⁽¹⁰⁾が作成した資料を提供しているところもある(太田市[やさしい日本語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語])。

第二に、**子育て情報の提供**に関して、子育てに特化した子育てガイド（冊子版・PDF版・電子書籍版⁽¹¹⁾など）を作成公開しているところがほとんどである。また、独自に子育てナビ・サイト・ブログ等を立ち上げているところ（つくば市、伊勢崎市、草加市、平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、上越市、沼津市、富士市、春日井市）、育児を応援する行政サービスガイド「子育てタウン」⁽¹²⁾を導入したところ（長岡市、岸和田市、宝塚市）もあった。さらには、紙媒体の母子健康手帳に並行して母子手帳アプリ（予防接種スケジュール管理システムを含む）⁽¹³⁾を提供し、メールマガジンやアプリを配信するなど、携帯電話やスマートフォンを使つての情報発信・受信・交流を行うところが増えつつある。

第三に、**①就学前**（乳幼児期）に関わって、児童手当、幼児教育・保育の無償化に加えて、市独自のこども医療費助成（乳幼児期以降を含む）を案内している。他に、予防接種費用助成（加古川市）、幼児2人同乗用自転車購入補助（つくば市、熊谷市）、児童自転車用ヘルメット購入補助（つくば市）、ショートステイ等（太田市、茅ヶ崎市、四日市市、岸和田市、宝塚市）、難聴児補聴器購入等助成（茅ヶ崎市、厚木市、佐賀市）、第3子以降・多子世帯子育て支援（伊勢崎市、太田市、所沢市、上越市）、誕生祝金（熊谷市）、紙おむつなどを支給する子育て日常生活支援事業（厚木市）などの独自施策の案内があった。

第四に、**①小中学生**（学齢期）に関わって、就学援助について学校病の医療費、めがね購入費の補助を特に広報したところがあった（大和市）。他に、学習塾代助成金（つくば市）、放課後児童クラブ等保育料補助・減免（伊勢崎市、所沢市、春日井市）、第3子以降・多子世帯の学校給食費補助・無償化（熊谷市、大和市、春日部市）、子ども食堂支援（茅ヶ崎市）、外国人学校通学補助（草加市）、自転車保険加入（大和市）、全国大会等出場者報奨金（長岡市）、未来を育む奨学金（春日部市）などの独自施策の案内があった。

第五に、**②高校生等**及び**③大学生等**（思春期・青年期）に関わっては、給付奨学金（一部給付を含む）（つくば市、太田市、熊谷市、所沢市、平塚市、小田原市、厚木市、大和市、沼津市、富士市、宝塚市）、貸与奨学金（伊勢崎市、太田市、熊谷市、春日部市、草加市、長岡市、上越市、四日市市、宝塚市）、入学準備金支給（伊勢崎市、厚木市、四日市市、茨木市）、入学準備金貸与（熊谷市、所沢市、春日部市、草加市）、留学奨励（伊勢崎市、長岡市、四日市市）、大学等奨学金利子補給（熊谷市、茨木市）、定住促進奨学金／大学等奨学金返還支援（上越市、沼津市、春日井市、加古川市）、特定職種の修学資金・就労支援：看護師（草加市、小田原市、春日井市）／看護師・助産師（富士市）／保育士（平塚市、茅ヶ崎市、加古川市、宝塚市）／介護職（厚木市）などの独自施策の案内があった。

第六に、**④その他**に関わって、ひとり親家庭支援に関わって、関連情報をまとめたガイドブック・しおり等の作成（春日部市、小田原市、上越市、沼津市、春日井市、佐賀市）、遺児手当・福祉手当（熊谷市、伊勢崎市）、小学校入学祝金（伊勢崎市、富士市）、遺児就学激励金（宝塚市）、ひとり親家庭大学生等奨学給付金（宝塚市）、ひとり親家庭大学生等（18～24歳）医療費助成（春日井市）などの案内があった⁽¹⁴⁾。

第七に、**コロナ禍に関連した広報**として、就学援助についてコロナ禍の家計急変世帯への注意喚起（伊勢崎市、佐賀市）、コロナ禍の小児医療費助成（茅ヶ崎市）などの案内があった。

第三報と同様の以上の特徴の整理に加えて、ここではさらに以下の2点を指摘しておきたい。

一つ目は、「切れ目のない支援」についてである。「まち・ひと・しごと創生基本方針」（2015.6.30 閣議決定）等において、①妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備を図る、②子育て世代包括支援センターを2015年度中に150か所整備しおおむね5年後までに地域の実情等を踏まえながら全国展開を目指していく、と位置付けられている⁽¹⁵⁾。その「おおむね5年後」までの2020年度を過ぎ、各市では子育て包括支援センターの整備と切れ目のない支援の提供が進んでいる。施行時特例市においても、フィンランドのネウボラを参考にし、切れ目のない支援を意識した広報がなされている。その一環として、月齢・年齢・ライフステージごとに支援サービスをコンパクトに一覧にした「子育て支援カレンダー」を作成しているところが

多い。とはいえ、妊娠・出産から乳幼児期、ないしせいぜい学齢期までのところが圧倒的であった。背景には保育・幼児教育・義務教育までを市町村が扱い、義務教育以降の高校・大学等は都道府県や国が担うという観念と実態があろう。しかし、第五として挙げたように、**②高校生等**及び**③大学生等**（思春期・青年期）に関する独自施策を展開する施行時特例市も少なくない。この点、子ども・若者支援ガイドの作成（所沢市）、子ども・若者のための総合相談窓口の開設（春日井市）、子ども期から成人期にわたる「相談機関への道しるべ」の作成（茨木市）などは、「切れ目のない支援」の思春期・青年期・成人期への拡張を志向するものとして注目される。

二つ目は、「重層的相補的な支援」についてである。2000年の地方分権一括法以降は「基礎自治体—広域自治体—中央政府」の水平的関係を目指しており、教育費支援についても「市区町村+都道府県+国」の重層的で相補的な支援のイメージとなろう。この点、草加市の「手当・制度・事業などの紹介」（<https://www.soka-bokkurun.com/known/184-2/>）は、横軸に「乳児・幼児・小学生・中学生・高校生」のライフステージをおき、各時期に受けられる市・県・国の制度を一覧できるよう図示して該当の項目をクリックすると詳細情報に飛ぶことができ、極めて利便性が高い。なお、本稿で採り上げた子ども医療費補助⁽¹⁶⁾についてみれば、国は子ども医療費の無償化（窓口負担ゼロ：現物給付方式）実施自治体に対して国民健康保険療養費等国庫負担金を減額するペナルティーを科してきた。その後、「ニッポン一億総活躍プラン」（2016.6.2閣議決定）の「希望出生率1.8」に向けた見直しの一環として2018年度からは未就学児までについて中止された⁽¹⁷⁾が、自治体からは更に就学後についても減額調整措置を撤廃し全国一律の子ども医療費助成制度を創設する要望が出されている⁽¹⁸⁾。子ども医療費助成、幼児教育・保育や高校・大学等の無償化策など国の政策の進展に伴って、従来の独自施策分の浮いた市財源を活用して漸進的無償化に係る自治体施策をどう構築するのかについて、住民ニーズを踏まえつつ総合的に検討すべき段階に来ていよう⁽¹⁹⁾。

註

- (1) 渡部昭男、渡部（君和田）容子（2020）教育費支援情報に関する都道府県の広報のあり方—漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究(1)—、神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要13(2)、241-260。
神戸大学学術成果リポジトリ http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81012006
- (2) 渡部（君和田）容子、渡部昭男（2020）教育費支援情報に関する政令指定都市の広報のあり方—漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究(2)—、近畿大学生物理工学部紀要(44)、9-25。近畿大学学術情報リポジトリ <http://id.nii.ac.jp/1391/00021219/>
- (3) 渡部（君和田）容子、渡部昭男（2021）教育費支援情報に関する中核市の広報のあり方—漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究(3)—、近畿大学生物理工学部紀要(45)、11-27。近畿大学学術情報リポジトリ <http://id.nii.ac.jp/1391/00021535/>
- (4) 総務省「中核市・施行時特例市」<https://www.soumu.go.jp/cyukaku/>、「施行時特例市一覧」https://www.soumu.go.jp/main_content/000673974.pdf（2021.5.23閲覧）。第三報の2020年度時点で中核市は60市であったが、松本市と一宮市が移行(2021.4.1)して2021年度現在は62市となっている。
- (5) 総務省「指定都市・中核市・施行時特例市の主な事務指定」https://www.soumu.go.jp/main_content/000153148.pdf（2021.5.23閲覧）。なお、同資料は第三報に「資料1」として掲載済みである。
- (6) NTTレゾナント運営の不動産総合サイト「goo 住宅・不動産」は、「あなたにとっての“住みやすい街”が見つかる『暮らしデータ』」の一つとして、全国815自治体（市区）の子育て関連の独自の取り組みについて都道府県ごとに一覧にして比較できる「全国の子育て関連の独自の取り組み 暮らしデータ」を提供している<https://house.goo.ne.jp/chiiki/kurashi/kosodate/>。野村不動産ソリューションズの不動産情報サイト「NOMU.COM」は、自治体別の子育て支援サービスを紹介した「子育てするならこんな街？」を提

- 供している<https://www.nomu.com/withkids/town/#town3>。また、子育て世帯が受けられる制度と相談窓口を知るサイト「イクハク」は、約38万件の制度登録を行っている<https://www.ikuhaku.com/mains/about/>。
- 本稿では、それらに掲げられた情報も参考にしつつ独自の取り組みと思われる施策・広報を推定し選択した。見落としがあるかと危惧されるが、各市からの指摘などを得て今後さらに補正していきたい。
- (7) 人口（年月日）は、各市のHPに記載された数字を載せた。
- (8) 中核市市長会「候補市」<https://www.chuukakushi.gr.jp/introduction/>によれば、11市（つくば市、所沢市、春日部市、草加市、市川市、藤沢市、富士市、春日井市、津市、四日市市、佐賀市）が中核市移行を検討中の「中核市候補市」であるという（2021.5.23閲覧）。なお、2019年度末に中核市への移行特例期間（施行時特例市であれば人口が20万人未満になったとしても中核市に移行できる期間）が終了したこともあって、全国施行時特例市市長会は解散となっている。
- (9) 子どもの権利条例などについては、各市HP情報とともに子どもの権利条約総合研究所のサイト「子どもの権利条例等を制定する自治体一覧」http://npocrc.a.la9.jp/siryou/siryou_jyorei.htm を、子供の貧困対策計画などについては、各市HP情報とともに内閣府のサイト「市町村子どもの貧困対策計画の策定状況」https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/keikaku/sakutei_city.html を、それぞれ参照した。
- (10) 多文化共生を目的に各地の民間国際交流組織（協会・センター・財団等）が多言語による情報発信や支援を行っている<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/association/rlica.html>。例えば、かながわ国際交流財団では「外国人住民のための子育て支援サイト」を設けている<http://www.kifjp.org/child/>。
- (11) 株式会社サイネックス（SCINEX）は、全国の自治体で発行している「暮らし便利手帳」を電子書籍化する事業を行っている。その内、「子育てガイド」に関しては256件がアップされており、施行時特例市については10市（つくば市・太田市・所沢市・小田原市・厚木市・大和市・岸和田市・茨木市・加古川市・宝塚市）が利用していた<https://ebooks.wagamachi-apps.com/book-search/category-list/schCategoryNum/3>（2021.6.21閲覧）。
- (12) 「子育てタウン」は株式会社アスコエパートナーズが管理・運営しており、96市区町村が導入している（各自治体HPのアクセシビリティ機能がそのまま使用可能）。施行時特例市については3市（長岡市・岸和田市・宝塚市）が利用していた<https://kosodatetown.mamafre.jp/service>（2021.6.21閲覧）。
- (13) 株式会社エムティーアイ（MTI）が提供する母子手帳アプリ「母子モ」（対応言語は英語、中国語〔簡・繁〕、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ロシア語、ネパール語）は380以上の自治体が導入しており、施行時特例市については4市（つくば市・平塚市・小田原市・四日市市）が利用していたhttps://www.mti.co.jp/?page_id=22020（2021.6.21閲覧）。なお、伊勢崎市の「ワクチン&子育てナビ」、春日部市の「かすかべっこ予防接種ナビ」はこの中には含まれていないようである。
- (14) 一般社団法人ハートフルファミリーが運営する「シングルファミリー応援情報サイト HEART FULL BANK」には、ひとり親家庭支援情報が都道府県・市町村別に一覧になっている <https://hartfullbank.com/>。
- (15) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 2015.9『「子育て世代包括支援センター」と利用者支援事業等の関係について」スライド1枚目、佐藤拓代 2018「子育て世代包括支援センターと切れ目のない支援とは」『小児保健研究』77(4)、p.319。
- (16) 厚生労働省 HP には、「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の最新版として 2019（令和元）年度（2019.4.1 現在）情報がアップされている https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13333.html（2021.6.23 閲覧）。
- (17) 乳幼児医療全国ネット「療養費等国庫負担金減額調整とは」<http://babynet.doc-net.or.jp/2.gengakutyousei.html>、厚生労働省 2016.11.18「子ども医療費助成に係る国保の減額調整措置の在り方について」https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000143272.pdf、厚生労働省

保険局長 2017.8.31 付 (保発 0831 第 7 号)「国民健康保険の調整交付金の交付額の算定に関する省令及び国民健康保険の事務費負担金等の交付額等の算定に関する省令の一部を改正する省令の公布について」<https://www.kokuho.or.jp/whlw/notice/lib/hoken64.pdf> (2021.6.23 閲覧)。

(18) 香川県議会 2018.3.20「地方単独事業に係る国保の減額調整措置の廃止等を求める意見書」https://www.pref.kagawa.lg.jp/gikai/jyoho/ketsugi/h30/3002_t06.html (2021.6.23 閲覧)。

(19) 教育新聞 2019.10.1「来春から中学給食無償化 政令・中核市で全国初、明石市」によると、明石市では国の幼児教育・保育の無償化で浮いた財源を活用して給食無償化を行うという https://www.kyobun.co.jp/news/20191001_04/ (2021.6.23 閲覧)。

英文抄録

How to publicize various information of educational expenses support

at the level of special cities not designated as a core city:

The fourth report of the study on local government comprehensive policy

for the progressive introduction of free education

Yoko WATANABE(Kimiwada)¹ and Akio WATANABE²

We collected information on support for education expenses on the websites of 23 special cities at the time of enforcement in 2015 that have not been designated as core cities with a population of 200,000 or more as of 2021. The following seven characteristics were analyzed.

1. Consideration for accessibility to information provided on the website (multilingual functions, etc.);
2. Publication and providing child-rearing guidebooks and distribution using smartphones etc.;
3. Original measures such as subsidies for medical expenses for children at the preschool stage;
4. Unique measures such as cram school fee and/or after-school childcare fee subsidy at the elementary and junior high school stage;
5. Original measures such as scholarships for students, scholarship funds for specific occupations, scholarship refund support projects at the senior high school and university stage;
6. Creation of support information booklets and unique measures such as extending medical expenses subsidies to adolescence for single-parent families; and
7. Calling attention to apply for assistance for the poverty due to Corona disaster and original financial support for COVID-19 in addition to national policies.

In addition, the following two points were examined:

1. Attempts to extend seamless support from pregnancy, childbirth, early childhood to school age, and further to adolescence and adulthood; and
2. Public relations with the image of three-layered and complementary support by municipalities, prefectures, and the nation.

Key words: special city at the time of implementation, support for education expenses, public information, local government comprehensive policy, progressive introduction of free education, seamless support, layered and complementary support

Received 16 July 2021, Accepted 23 September 2021.

This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number JP19K02465, JP19K02864.

1. General Education Division, Faculty of Biology-Oriented Science and Technology, Kindai University, Wakayama 649-6493, Japan
2. Visiting Professor Emeritus of Graduate School of Human Development and Environment, Kobe University, Hyogo 657-8501, Japan